

おおまち

ボランティアニュース

発行 大町市社会福祉協議会内
大町市ボランティアセンター
長野県大町市大町1129
(東町 総合福祉センター内)
TEL (0261) 22-1501
FAX (0261) 22-7071
URL <http://www.omachishakyo.org/>

楽しいレクリエーション<87>

サイコロ思い出レゲーム

サイコロがのったお題を、サイコロの出た目の数だけ答えます。その名前を答えることで、記憶力や言葉の想起力を養います。

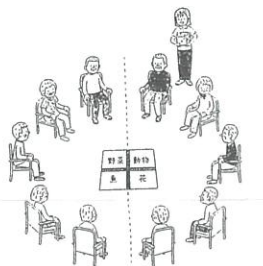
準備

- 的…A3程度のコピー用紙(カレンダーの裏でもよい)に、野菜、動物、魚、花などのお題を1つずつ書き、ガムテープで十字に貼り合わせる。床に直接貼ってもよい。



サイコロ

進め方



- 10人~12人ぐらいを2チームに分け、円座になって中央に的を置く。
- チーム交代にサイコロを投げる。1人が的にのるようにサイコロを投げる。のらなかった時はのるまで投げる。

- サイコロがのったところのお題を、出たサイコロの目の数だけ答える。サイコロを投げた人から順番に1人ずつ答えていく。
- サイコロの数だけ答えられたら成功。チーム交互に、サイコロを投げる人を交代しながら続けていく。ホワイトボードに出た答えを書いておき、1度出た言葉は使わないようにする。
- 答えにつまった時は…
リーダーがヒントを出したり、チームの人と相談してもよいこととします。
- チャレンジ
お題を増やしてもおもしろい。

2021年に開催された東京オリンピックとパラリンピックは無観客で行われましたが、多くの方に希望と感動を与えました。市内でもパラリンピックの競技の一つであるボッチャは、学校やイベントで体験する機会も増え、普及されてきています。98年の長野パラリンピックから、店舗や施設に簡易スロープが設置され、県内でも障がい者に配慮する意識が高まってきています。



—昨年の社会福祉大会 R2.2.1

参加費 無料

ギタリスト

講師
「特別扱いされない社会」
川崎昭仁さん
長野県社協
まちづくりボランティアセンター職員

内容
表彰
社会福祉功労者表彰
福祉啓発標語入選者表彰

日時 令和5年2月4日(土)
午後1時30分~3時35分
受付 12時30分~

会場 文化会館大ホール

演奏を聴き、地域共生社会について考えます。

報告 救援金送金

市総合福祉センター内でご協力いただいていた『ウクライナ人道危機救援金』25,883円10月25日に日本赤十字社に送金しました。ご協力ありがとうございました。



信州こどもカフェは、無料または低額で食事提供や学習支援を行う子どもの居場所のことで、「こども食堂」と呼ばれています。この活動を応援し、子どもたちに十分な食事や学びの機会を確保することを目的にクラウドファンディングで寄付を募集します。寄付金は、「信州こどもカフェ」の運営に活用します。

信州こどもカフェ応援プロジェクト …クラウドファンディング…

募集期間: 令和4年12月1日(木)~
令和5年1月31日(火)まで
目標額: 200万円
寄付受付募集サイト
信州こどもカフェ応援プロジェクト
<https://www.furusato-tax.jp/gcf/2149>
寄付受付問合せ
「ふるさと信州寄付金」事務局
県庁総務部税務課内
TEL 026-235-7061

申し込み
1月23日(月)までに、大町市社協へ
TEL 22-1501

回収します 2023カレンダー

自宅や会社などで使用しない2023年のカレンダーを集めています。どんなものでもOK! 頂いたカレンダーは、必要としている方にお譲りします。

ご協力いただける方は、市総合福祉センター内(東町)社協ボランティアセンターまでお願いいたします。

農福連携企画

ストロースターとヒンメリを作ろう!

共同作業所すずらんで作っている「ライ麦ストロー」の端材などを使い、新年の福を呼び込む「ストロースター」と「ヒンメリ」を作ります。講師にヒンメリアーティストをお願いし講座を行います。共同作業所のみなさんと一緒に交流しながら作って福を呼び込みませんか。

日時: 令和5年1月18日(水)

午後1時30分～3時30分

会場: 市総合福祉センター

2階 大会議室

講師: 塚田真由 さん

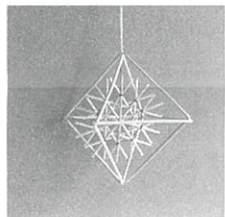
参加費: 500円

定員: 10名

申し込み: 1月13日(金)までに すずらんへ

TEL 26-3870

新型コロナウイルス感染状況によっては、中止・延期の場合があります。ご了承ください。



研修会報告

小地域福祉ネットワーク

小地域福祉ネットワーク研修会を、

賛助会大町グループのみなさんは、コロナ禍で福祉施設のみなさんと交流ができないうち、「何かできることはないか」と市内の福祉施設で環境美化活動として、10月12日(水)特養里ーべおおまちと10月26日(水)ぽれ道草で草取りボランティアを行いました。作業に参加されたみなさんは、「会員同士の集まる良い機会になりました」、また施設の方々は「きれいになりました。とても助かります」と話されました。

福祉施設で 草取りボランティア

12月8日(木) 市総合福祉センターで開催しました。コットンで紡ぐ地域のつながりをテーマに、小地域福祉ネットワーク旭町あさひ会の栗林貴子さんと高根町たかね会の栗林貴子さんに、綿花を育てることについて、地域の活動の様子をお話しいただきました。次に大町警察署生活安全課中村勇樹生活安全係長から、電話でお金詐欺の被害防止を中心に、「高齢者の見守りと支え合いの活動について」お話しいただきました。続いてフラワーアレンジメント講師猪俣明子さんの指導で、大町産の綿とブリザードフラワーを使ったアレンジメント体験を行いました。参加されたみなさんは講師のアドバイスで作品を完成させました。



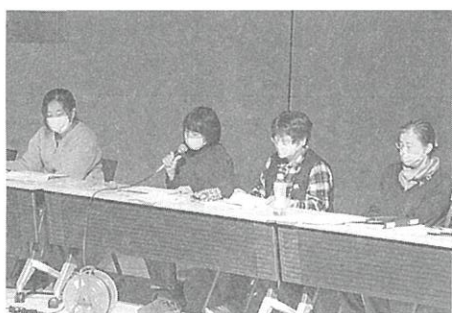
大北ブロック ボマテラ地域活動フォーラム

第23回大北ブロックボランティア地域活動フォーラムが、10月20日(木)松川村すずの音ホールで開催されました。小谷村は、オンラインで参加しました。講演は、ご近所クリエーターとして活躍されている酒井保



アドバイスをうけて

さんから「気にかけてあうつながりが地域を救う!」と正しく恐れ、楽しく集おう」と題し、講演いただきました。その後の活動発表は、新たなつながりを作ろうとテーマに、小谷村の「小谷村役場集落多核員ふれあい隊」から、今年4月から集落支援員として活動している村に嫁いだり移住した女性4人の、地域の想いやつながりを大切に協力し合いながら活動する様子を、白馬村からは、「スマイルデンワ(電話傾聴)」の、コロナ禍でもつながりを切らない活動と取り組み始め、電話だけでなく少しコロナが落ち着いたら時に集まってお茶会をした様子を。大町市からは、「みんなの居場所ほっとスペース」の子どもたちへの学習支援活動や他団体と共同活動で年齢に関係なく活動の幅が広がっている様子を。池田町からは、社協が行っている月一回コロナ禍で日々食事に困っている方に、ボランティアがお弁当を作って配達している「つるてる便」の様子を。松川村の「有償ボランティアあかり」から、介護保険制度の中では、できないことがたくさんある介護サービスの隙間を埋めるために、ベテラン主婦で立ち上げた様子を発表していただきました。各団体とも地域の方々とのつながりを切らないようにと始めた活動ですが、活動しているボランティアの語らいの場にもなっている様子がよくわかりました。



「つくしの会」の発表

大北笑顔プロジェクト Face book

大北ブロック社会福祉協議会では、「大北笑顔プロジェクト」というFacebookページを開設しています。大北地域のボラ団体等の

活動を、SNSで発信することで「コロナ禍でも身近な地域の活動を知っていただき、笑顔の輪を広げていきたいと考えています。活動を紹介させていただける団体を募集しています。ご連絡をお願いします。大町市社協 22-1501